



ラブちゃん日記

Vol.
33

「あっ」と言う間に12月になってしまいました、皆さん元気でやっていますか？

ここ熱海町のEDFでは、この原稿を書いている11月上旬は秋晴れが続き、青空と赤や黄色に染まった紅葉のコントラストが見事で、見飽きると云う事がありません。この秋、10月は「イモ煮会」、11月は「鳴海先生のしつけ教室」とビッグイベントが立て続けに行われました。そんな中、メンバーさん達は枯葉が枝から落ちるのを待ち切れずに、ワン達と林間コースの散歩に出かけ始め、先週はお父さんとメンバーさん有志が草を刈ったり、枝を払ったりしてコース整備に汗を流していました。県内各地でクマ出没のニュースが聞かれるにも関わらず「クマが冬眠するまでとっとも待っては居られない」と云った心境のようです。

どのワンがクマと戦えるか話題にはなっていますが、そのような状況にならないことを願っています。

かく言う私も今シーズンはどこまで林間コースを登ることが出来るのか大変不安なのですが、体力が低下した分を気力で補って、自分のペースで山歩き

を楽しみたいと思っています。そんな私に物足りないお父さんは、EDFのメンバーのワンちゃん達をお預かりする度に、大喜びで散歩に連れて歩いたり、ドッグランで一緒に走り回ったりしています。お父さんの目的の第一は、ヘビメタならずとも中メタのお腹を何とか凹ませることなのですが、今のところその目的は達成されていません。

もうひとつは、愛犬家が良く言う言葉に「うちの子は自分を犬と思っていないくて、人間と思っているのよね」と云うのがありますが、私に言わせれば「うちのお父さんは自分を人間と思っていないくて、犬と思っているのよね」と云う事になります。先週もお預かりのワンちゃんと、早朝からプロレスやら追い駆けっこやらをやって、ふくらはぎの肉離れを起こして大騒ぎをしました。これなんかは完全に年寄りの冷や水なのに、負け惜しみで私に言うんです「ラブ、来週は山に登るぞ。肉離れのおかげで、お前とどっこい勝負だっ！」だって…。(M)

